

2018年11月27日

株式会社日本証券クリアリング機構

## SPAN パラメーターの設定方法の一部見直しについて

平素は、当社の清算・決済業務の運営に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社では、市場ボラティリティの長期停滞時においても取引証拠金所要額水準を一定程度維持し、かつ取引証拠金所要額の大幅な増減を回避すべく、一部の商品グループに係るプライス・スキャンレンジの設定方法について、下記のとおり見直しを行うこととし、別紙のとおり「SPAN パラメーターの取扱い」を一部改訂いたしますので、御通知申し上げます。

なお、本見直し後の設定方法は、2019年1月11日（金）に算出・公表するSPAN パラメーターから適用いたします。

### 記

- 対象商品グループ
  - 長期国債グループ
  - 日経平均株価グループ
  - TOPIX グループ
  - JPX 日経インデックス 400 グループ
  - TOPIX Core30 グループ
  - ラッセル／野村プライムインデックスグループ
  - ダウ・ジョーンズ工業株平均株価グループ
- プライス・スキャンレンジの算出に用いるボラティリティー・インデックス（VI）又は調整 VI について、下表のとおりとする。

| 現行  | 見直し後  |
|---|---|
| 当日の VI 値（又は調整 VI 値）が過去 5 営業日の平均値と比較して大きい場合には、過去 5 営業日の平均値を用いる。ただし、当該数値が <u>過去 250 営業日の平均値を下回る場合には、過去 250 営業日の平均値を用いる。</u> | 当日の VI 値（又は調整 VI 値）が過去 5 営業日の平均値と比較して大きい場合には、過去 5 営業日の平均値を用いる。ただし、当該数値が <u>過去 250 営業日又は 500 営業日の平均値を下回る場合には、過去 250 営業日又は 500 営業日の平均値の大きい方の値</u> を用いる。 |

以 上